

# なぎさこども園における自己評価・自己点検

令和2年度

※本年度の本園における保育を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・A, B, C, Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A : たいへんよい  
B : よい  
C : 一部検討を要する  
D : 改善を要する

項 目

## ◎ 教育・保育計画の編成と実施に関する評価

理念や基本方針は、幼保連携型認定こども園の教育・保育に対する考え方や姿勢を示すものです。これが明確にされていることによって、職員は自らの業務への意識付けや子どもへの接し方、教育・保育サービスに対する具体的な取組を行う事が出来るようになります。また、実践する保育サービスを保護者等に分かり易く伝えることが保育所に対する安心感や信頼を与えることにもつながります。

項 目	内 容	評 価				意 見・改 善 策
		A	B	C	D	
教育・保育課程・目標について	(1)教育・保育課程の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	17	19			(5)職員間での検討や共通理解ができていない (5)全職員でとなるとパートの先生方までみんなにちゃんと見せて読んで理解してもらう必要がある。 (5)保育課程・目標を全職員で検討する環境を整えるのは感染症の観点から難しいと考えるため行事会などでクラスの代表が集まる場でより深めていけたらよいのではないかと。
	(2)教育・保育課程は、各施設や地域の特色を生かしているか。	17	19			
	(3)保育課程・目標は、社会の要請や保護者の意向を考慮し、作成しているか。	15	21			
	(4)課程・目標は、前年度を生かしているか。	17	18	1		
	(5)教育・保育課程・目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	12	22	2		
教育・保育について	(1)計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	16	20			・適切にできている (3)検討が必要などところがあるかもしれない。 ・自分のクラスは常に見直しているが他のクラスにも目を向け、ベストの環境が整えられるように言い合えるとよいと考える。
	(2)教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。	20	16			
	(3)環境構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか。	14	22			
	(4)素材・用具を適切に使用しているか。	14	23			
	(5)評価結果をもとに教育・保育の改善に努めているか。	14	22			
日時程	(1)一日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	12	23	1		・その都度見なおしているがもっと早く取り組めたらと思う・常に見直しを行っている
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	12	21	2		・コロナ禍で難しいと思うが今できる範囲での行事は行えていると思う。 ・常に全職員に計画から改善までの周知はできている。 (4)計画や実施まではできているが評価(反省)や改善するまでの話が伝わって来ない。 ・常に全職員に計画から改善までの周知はできている。 ・改善という点で十分ではないものもあるのではないかと感じる
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	16	20			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的に活動にしているか。	15	22			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	18	16	2		
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	19	16	1		

## ◎保育環境と教育・保育内容に関する評価

幼保連携型認定こども園は、子どもたちが心地よく過ごす生活の場にふさわしい環境を整えていくことが大切です。様々な面から保育環境を整備し、子どもたちが園で快適に過ごせる様に配慮すること。教育・保育内容については、子ども一人ひとりのへの理解を深め、受容することが基本です。様々な保育の取り組みがありますが、まず、子どもと保護者の人権を尊重した上で、子ども一人ひとりの家庭環境、身体能力、精神成長の違いを把握して保育をすすめることが大切です。

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育環境について	(1)園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している。	10	24	3		(1)定期的に汚れの溜まった所を清掃するなどした方がよい。 (1)トイレや廊下などもっと清潔に留意していく。
	(2)室内外の衛生面・安全面に配慮している。	15	19	3		・利用者アンケートを もとに改善しているところである。また改善すべき点がないか検討中である。
	(3)生活の場にあった保育者の声、音楽など音に配慮している。	12	22	3		(3)声の大きさはもう少し配慮が必要 (4)子どもの発達をしっかりとらえて遊具の種類や配置についてもっとクラス全体で話し合ったり意見を出し合ったりすることが大事なのではないだろうか。
	(4)各保育室に子どもたちの発達や興味関心にあった遊具がいつでも手に取れるように配置している。	15	18	4		(5)季節ごとの装飾や子どもの発達に合わせた玩具が用意してある
	(5)室内に子どもたちが、季節感を味わえるような工夫をしている。	14	19	4		
教育・保育内容について	(1)子どもに分かりやすい温かな言葉使いで、穏やかに話している。	12	22	3		・物的環境についてコーナーの設置や安全面についてもっと細やかな配慮を必要とするところもあるように思う。 (1)必要以上の言葉かけはしないように心がけている
	(2)子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受けとめ、状況に応じて適切な対応をしている。	17	20			(2)子どもの気持ちを受け止める関わりを職員間の共通認識として行っている。子どもに合わせた関わりをしている。
	(3)基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	20	17			(6・12) 今年コロナで色々難しかったと思うが来年度落ち着いてくればできることからやっていければと思う。
	(4)子どもの様々な活動を自由に体験できるような環境の整備がされている。	13	23	1		
	(5)生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している。	12	23	2		
	(6)散歩や行事などで、子どもたちが主体的に地域の人に接する機会を作っている。	11	20	5		
	(7)様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	14	23			
	(8)身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	14	20	2		
	(9)絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	18	17	2		
	(10)ケンカの場面では、危険のないように注意しながら子どものプライド、自立性を尊重し、子どもたちの同士で解決するように援助している。	22	15			
	(11)順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	19	18			
	(12)広く社会性が身につくよう、異年齢の子どもたちや様々な年齢層の人たちと交流している。	15	17	4		

◎教育・保育の計画と実施を支える諸条件に関する評価

幼保連携型認定こども園の機能や役割が増す中で、組織の一員として今以上にその役割をしっかりと担うことが求められています。また、教育・保育要領の中では、幼保連携型認定こども園を運営するための施設長の役割が大きく、常に園の運営などの課程を自覚し、日頃から研鑽に努める必要があります。

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1)能動的、合理的な運営組織になっているか。	14	21			(3)どうしてもキャリアで仕事量を配分してしまう傾向にある。一人ひとりの力を適材適所で考えられたらいいと思う。 (3)みんなひとりひとり個人差があるので力量以上の仕事を任されていると思う人もいる (4)行事の分担が結構重なっている職員がいて大変そうだ。 (4)年間を通しての仕事内容の見直しを行って改善されている
	(2)職務内容が明確で、共同できる体制になっているか。	14	21	1		
	(3)職員の配置は適材・適所か。	12	21	3		
	(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	12	20	4		
	(5)教育・保育の質の向上や改善のための取組について、意図的・計画的に実施している。	14	22			
経営	(1)各種会議を適切かつそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	13	23			(2)なるべく時間内に内容の濃い有意義な会議にしたい。 (2)各会で行事を進めていたため会議等があまり多くならなかった。次年度は体制が変化するため打ち合わせの回数等検討していく。 (3)会議の中で話し合いや前年度の反省を活かした取り組みができています。
	(2)打合せの回数、時間、内容は適切か。	8	21	5		
	(3)運営改善の課題について把握し、計画的な取組みにを行うとともに、定期的に検証、見直しをしている。	16	19			
施設長の役割	(1)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明している。	23	13			
	(2)施設長は、質の向上の意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	28	8			
組織	(1)クラスの目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	13	22	1		(5)行っていると感じているがたまに、まだ毎年の事だからと疑問を持たないこともある。私も含めて全職員の意識を変えていきたい。 (5)クラスの職員間で情報交換を行い保育を行っている
	(2)個人別・クラスの目標は、乳幼児の実態に即しているか。	16	20			
	(3)クラスの目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	11	24			
	(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	14	21	1		
	(5)意義や趣旨を理解したチーム保育をおこなっているか。	16	20			
	(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	15	20	1		
保健安全指導	(1)クラス運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	15	21			・子どもの成長を見守りながら危険だと感じるところはその都度話し合っている
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	22	14			
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	17	17	2		
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図っているか。	17	17	1		

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
研究・研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	19	16			(2・5)この園は研修をとってもいっぱい取り扱ってくれており保育に還元できていると思う。 (5)研修報告書を通して様々な知識を共通理解することが出来る (5)発信し周知できるとよりよくなると思う。・専門的に学んでいる先生の話聞ける機会があるとよいのではないか。(だれがどのような専門性を持っているか周知する)
	(2)研修・研究の成果をを日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	14	21			
	(3)研修・研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。	16	19			
	(4)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実をはかっているか。	18	17			
	(5)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	15	19	1		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取扱っているか。	21	15			・きちんと管理できている
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	22	10			
	(3)各票簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	20	12			
保健・安全指導	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	18	17	1		(1)あまり行われていないように思う (1)避難訓練や安全点検を通してしっかり確認できている (3)避難訓練で初めて行ったが日々の中での準備が話し合われていない。 (3)不審者対応でのサインがマニュアルの検討をしている時に気づいたためみんな周知する必要がある。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	16	21			
	(3)不審者に対する周到的配慮を行っているか。	13	21	3		
	(4)掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	19	16	1		
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	19	12			・きちんと管理できている
入所児童の人権尊重	(1)子どもの思いや意見を、はっきり言うことが出来るよう配慮し、それを尊重している。	23	14			(1)子どもの気持ちや個々を尊重できている (4)今年度該当しない
	(2)一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や文化家庭の事情、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てる。	22	15			
	(3)子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している。	22	15			
	(4)日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている。	19	12			
	(5)保育者は子どもの人権尊重を意識して保育を行っている。	21	16			

◎ 開かれた保育所づくり

地域の子育て家庭に対しても子育て力の向上に貢献していくことが今後の課題となりました。こども園としての専門性を地域のニーズに応じて提供し、地域に開かれたこども園としてお互いの連携や交流が求められます。

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り の 推 進	施設 間 交 流 ・ 連 携 ・ 開 か れ た 保 育 所 づ く り の 推 進	(1)他施設との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に沿ったものになっているか。	15	16	3	(1)コロナ禍で実施方法を見直している (2)制限される中で子どもが楽しめる交流を考えて行っていた (2)予定はしていたが今年ではできなかった。
	(2)他施設等の幼児児童施設生徒と触れあう中で乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るような配慮や援助・支援を行っているか。	13	15	7		
	(3)施設長同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	18	14	2		
	(4)参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	15	13	5		
	(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	12	16	5		
た 保 育 所 づ く り の 推 進	家庭 ・ 地 域 の 保 育 所 づ く り の 推 進	(1)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	15	18	2	(1)今年度は感染症の事であり地域と交流することが出来なかった。 ・コロナ禍でできる限りのことは行っている。 (4)予定はしていたが今年ではできなかった。
	(2)保護者を含む地域の人の人材活用の時期・内容は適切か。	13	19	2		
	(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	12	21	1		
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	7	21	6		
保 育 所 づ く り の 推 進	子 育 て 支 援 の 推 進	(1)地域の子育て支援として、園庭や中庭、保育室などを開放しているか。	20	15	1	(1)今年度はコロナの流行の中でしたが、できる限りのことをしてなぎさっこクラブを行いました。地域の方のお役に立てたのかなと思います。 (1)コロナ禍の中での子育て支援、今年度は難しかったと思えるので来年度はどういう風に取り組めるか大変な課題だろうと思う。 ・コロナ禍でもできることを検討中 (2)保護者の方のお仕事を活用するといいかもかもしれません。コロナだから他人とは触れ合えないので保護者の方となら安心な面もあります。 (4)信頼されていないかもと反省することもあった。
	(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	15	17	4		
	(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	12	19	3		
	(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	12	22	1		
	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか。	15	18	3		
情 報 の 配 信	情 報 の 配 信	(1)園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報発信しているか。	27	9		(1)園だより、クラスだより等細かく書かれておりどこの園よりこだわっていると思う。 (1)地域との交流ができない分ホームページなどの情報公開は大切なため今後も続けていく。 (2)内容があまり見えない・できている
	(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設小学校に対して周知しているか。	17	17	1		
外 部 評 価	外 部 評 価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	17	17		(1)できている
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	18	17			